新宇宙天気イベント通報と宇宙天気情報利用ガイドライン（概要）

2025/06/19

人類の宇宙利用と宇宙進出が進む中、太陽フレアなど宇宙環境の乱れは私たちの社会インフラに影響を与え、その規模によっては障害を発生させることがあります。2022年総務省主催の「宇宙天気予報の高度化の在り方に関する検討会」を受けて、社会的影響を踏まえた新警報基準に基づく”宇宙天気イベント通報（SAFIR）”と”宇宙天気情報利用ガイドライン”及び”宇宙天気情報利用の手引き”を発表します。

Point!　宇宙天気現象が社会インフラに及ぼす影響を軽減するために、

1. 従来の予報情報に加え、社会インフラへの影響が見える新しいイベント通報を開始
2. 宇宙天気情報利用ガイドラインで、運用者の具体的な対策アクションを例示
3. 民間企業・省庁・自治体の方向けの入門的な宇宙天気情報利用の手引きを公表

新宇宙天気イベント通報（SAFIR）

※SAFIR：Space weather Alert For social Impacts and Risks

- 従来の自然現象の規模による警報基準ではなく、社会的影響を踏まえた新警報基準を採用
- 社会インフラへの異なる影響を業界ごとに明示し、インフラ運用者が使いやすい情報に
- ユーザー視点での基準。科学専門用語ではなく、各運用現場での用語で記述

宇宙天気情報利用ガイドライン

- 防災・減災のための具体的なアクションのための宇宙天気情報利用ガイドライン
- 通信・放送、宇宙システム運用、航空機運航などの各業界における異なる影響と対策のまとめ
- 予報や現況情報を見てからの防災・減災の行動や、BCP策定の参考に

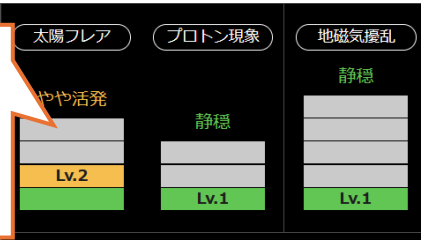
宇宙天気情報利用の手引き

- 宇宙天気情報を初めて見る方向けに、宇宙天気情報とは何か、社会影響の例を紹介
- 太陽地球惑星間物理学の学術書ではなく、宇宙天気ユーザーのための入門書

民間企業・公的機関のインフラ運用者による宇宙天気情報の利用と対策アクションによる影響対策へ
宇宙天気情報ユーザーの裾野を拡大、人材育成や民間サービスによる宇宙天気情報の利活用促進へ

現在の通報　**基準：宇宙天気の物理現象の規模**

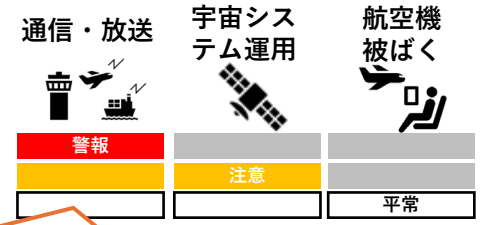
太陽X線
フラックス量
Lv4：　Xクラス
Lv3：　Mクラス
Lv2：　Cクラス
Lv1：<Cクラス



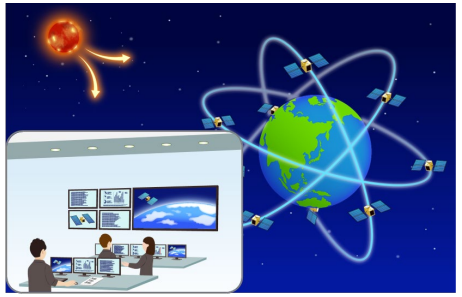
新たに追加

新通報

基準：社会的影響の規模



通信・放送（HF帯）
警報：昼間側広範囲でHF帯全域使用不可
注意：昼間側広範囲で低周波数使用不可
平常：影響なし

ガイドライン

ユーザーの具体的な対策アクション